



こども新聞
週刊がほピョンプレス

あなたの隣の
外国人

きょうのテーマ

フィリピン出身の介護職員
高橋リヤネットさん(45)

少子高齢化が進む日本の介護現場を、多くの外国人が支えてくれていることを知っている？ フィリピン出身の高橋リヤネットさん(45)は石巻市にもその一人。ポジティブな笑顔で、お年寄りを元気にしているよ。

高橋リヤネットさん(45)
フィリピン出身 / 介護職員

リヤネットさんは東松島市のデイサービスセンターで働き、高齢者の食事や入浴などのお世話をしています。「孫か娘みたいに思われているよ。『楽しかった。またよろしくね』と言われると頑張ろうと思える」とやりがいを語ります。

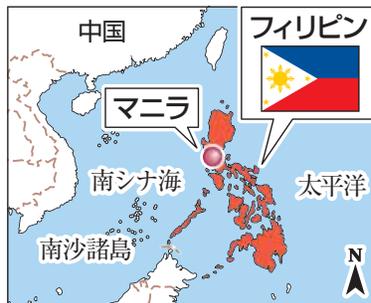


27歳から小学2年生までの6人きょうだいの母親でもあります。子どもが大好き。地域の学校で英語を教えるサポーターのほか、日本に住む外国人の支援もしています。

くよくよせず常に前向き



デイサービスセンターでお年寄りたちのゲームを手伝うリヤネットさん(写真撮影時のみマスクを外しました)



10年前の東日本大震災
祖母を介護しました。



震災後、仕事を失った外国人が新たな仕事に就くための職業訓練に参加。介護を学びヘルパーの資格を取り、5年前から今のデイサービスセンターで働いています。「夫

い、子どもにも恵まれて日本に定住。仙台などに住んでいくつも仕事を掛け持ちし、母国の実家に仕送りを続けました。17年前からは石巻の夫の実家に住み、義理の両親と祖母を介護しました。

困難に負けず、常に明るいリヤネットさん。地域でも介護の現場でも、太陽のような存在になっているんだね。

では家は無事でしたが、怖い思いをしたそう。それでも「周囲の人が子どもたちを気遣い、食べ物に分けてくれた。日本人は優しいし、すごいと思った」と感謝します。

今介護福祉士の資格を取るため、難しい勉強に励んでいます。「くよくよしても何もないことはない。前向きに頑張れば、できないこともできるようになる」と、どこまでも前向きです。

今週の注目ニュース

◇11月6日(土) 志村けんの大爆笑展始まる
新型コロナウイルスのため昨年亡くなった、日本を代表するコメディアン志村けんさんの軌跡を紹介する「志村けんの大爆笑展」が仙台で始まるよ。抽選で入場券をプレゼントするので、詳しくは7面を見てね。

きょうの紙面

- 2面 サイエンス
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 聞いて学べる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ